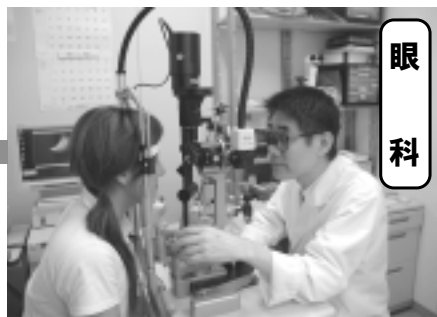


## みの糖尿病センター

関連診療科との連携により糖尿病治療をトータルサポートします。  
美濃病院は糖尿病・医療連携体制推進事業の基幹病院として選定されました。

◀振動覚検査  
糖尿病性神経障害の有無を調べています



眼科



かかりつけ医



脳神経内科



腎臓透析内科

**合併症を押さえ込む**  
現在では当たり前のように言われていることですが、糖尿病は単なるひとつの病気ではなく、合併症を併発する全身病です。糖尿病の診療は、ある一瞬の血糖が下がったと一喜一憂していてもあまり意味がないのです。常に、一定の血糖を保つことが大切です。そして、合併症をいかに押さえ込むかが重要なのです。  
全身の合併症を診療するためには、病院側にも準備が必要です。例えば、有能な検査機器、十分多様な薬剤、診察スペースも必要ですし、関連科

## みの糖尿病センターへ期待



武田 純

岐阜大学医学部附属病院糖尿病代謝内科教授

昨年末、糖尿病対策の推進が国連決議されましたが、我が国でも深刻な問題です。岐阜県では「糖尿病・医療連携体制推進事業」として、糖尿病と関連診療科（眼科・腎臓・循環器など）の専門医を地域でマップし、ホームページで公開することになりました。中濃地区では美濃病院が基幹病院の一つに選定されました。従って、『みの糖尿病センター』の設立は実にタイムリーであり、医師会との密接な連携は地域医療に大きく貢献するものと期待されます。

**糖尿病診療の拡充**  
この連携（眼科、循環器内科、脳神経内科、腎臓透析内科）が非常に重要です。そしてなによりもマンパワーとスタッフの「やる気」も大切です。

今、日本全国で糖尿病管理の重要性と糖尿病専門病院・特別外来の必要性が叫ばれています。日本医師会、日本糖尿病協会、日本糖尿病学会の3会で構成された糖尿病対策推進会議も糖尿病治療のエッセンスと題した小冊子を全国の内科医、開業医に配布し、かかりつけ医と地域の基幹病院との連携の重要性を説いていま

# 『みの糖尿病センター』オープン

す。

美濃病院ではこれらの状況を取  
りし、糖尿病患者の皆様のため  
の「みの糖尿病センター」を立ち上  
げることになりました。

それにともない、今まで月曜日、  
木曜日まで週4日だった糖尿病診察  
日を週5日、金曜日までとし、初診  
患者様の受け入れ等をこれまで以上  
に迅速にし、再診患者様にはより適

切な治療を提供して行きたいと考  
えています。

## トータルサポート

「きらりとひかる「みの糖尿病セン  
ター」は、美濃の地域性にマッチし  
たセンターを目指しています。まず  
は、患者ニーズの高い眼科との連携  
からスタートし（糖尿病眼科、レー  
ザー治療等）、次いで脳神経内科

（脳梗塞等）との連携を順次充実し  
てゆく予定です。院内の内科と眼科  
が一体となって診療にあたるための  
情報の共有化をすすめます。

また、糖尿病の早期発見、早期治  
療を目指すだけでなく糖尿病予備群  
やメタボリックシンドロームの方々  
の診療も拡充していく予定です。

さらに、それらの方々が、糖尿病  
にならないための介入方法や治療か

ら脱落しないための介入方法を検討  
していきます。フットケアを中心と  
した看護外来も充実させます。

美濃病院から新しい糖尿病・生活  
習慣病医療のかたちを発信し、美濃  
市民の健康増進に役立てていきたく  
と考えています。

「みの糖尿病センター」をよろし  
くお願いします。

## 看護師を募集

～子育て中の看護師さんをサポート～

美濃病院では、『地域から選ばれる満足度の高い医療サービスの提供』のために、看護職員の募集を行っています。

### ★応募資格

看護師・准看護師の資格がある方、取得見込みの方

### ★勤務条件

勤務日・時間など相談に応じます（パート可）

### ★院内保育所

24時間対応で子育て中の看護師さんをサポートします

### ★看護宿舎 ワンルームタイプ有り

### ★募集期間 随時

※奨学金制度もあります。お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ 美濃病院事務局

☎33-1221 FAX33-4724



## みの糖尿病センター医師



伊藤 勇 医師  
美濃病院内科医長



三浦 淳 医師  
美濃病院副院長



伏見宣俊 医師  
岐阜大学医学部附属病院糖尿病代謝内科



鈴木英司 医師  
岐阜大学大学院医学系研究科健康障害半減講座准教授